

医 健 第 3126 号
令和 5 年 10 月 16 日

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長
修 理 淳

インフルエンザの市内流行注意報発令に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、第 39 週（9 月 25 日～10 月 1 日）の定点医療機関当たりの患者報告数が 14.96 となり、流行注意報発令基準(10.00)を超えたため、10 月 5 日に市内にインフルエンザの流行注意報を発令しました。

区別の流行状況では、14 区で定点医療機関当たりの患者報告数が流行注意報発令基準を超えています。

また、市内でインフルエンザによる学級閉鎖や学年閉鎖を行った学校等の報告は、第 38 週で 26 件でしたが、第 39 週で 86 件と増加しています。

感染が広がる前に、施設への持ち込み防止策、発症者の早期把握及び感染拡大防止策の強化が重要です。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関において感染対策を徹底するようお願いいたします。

<添付資料>

2023-24 横浜市インフルエンザ流行情報 4 号

担 当：横浜市医療局健康安全課
電 話：671-2463 FAX：664-7296
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohama.jp

横浜市インフルエンザ流行情報 4 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

流行注意報が発令されました

【概況】

第 39 週(9 月 25 日～10 月 1 日)の定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **14.96** と、前週の 8.84^{※5} から増加しました。

年齢別では、10 歳未満の報告が全体の 44.1%、15 歳未満の報告が全体の 72.7% を占めています。学級閉鎖等は、第 39 週にて 86 件(保育所・幼稚園 1 件、小学校 66 件、中学校 14 件、高等学校 4 件、その他 1 件)、患者数は 1,194 人です。

市内迅速診断キットの結果は、累計で **A 型 99.7%、B 型 0.2%、A・B 型ともに陽性 0.1%** と、A 型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況^{※2} では、AH3 型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。本格的な流行の前に、早めのワクチン接種を検討し、咳エチケットや正しい手洗い^{※3, ※4} 等でインフルエンザを予防しましょう。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

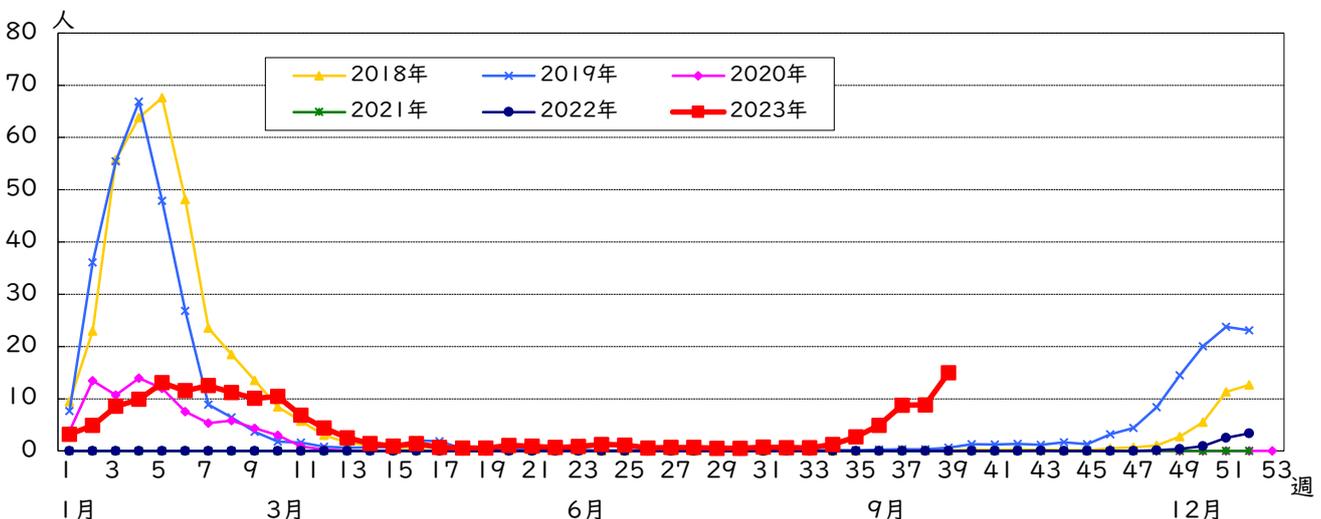
※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

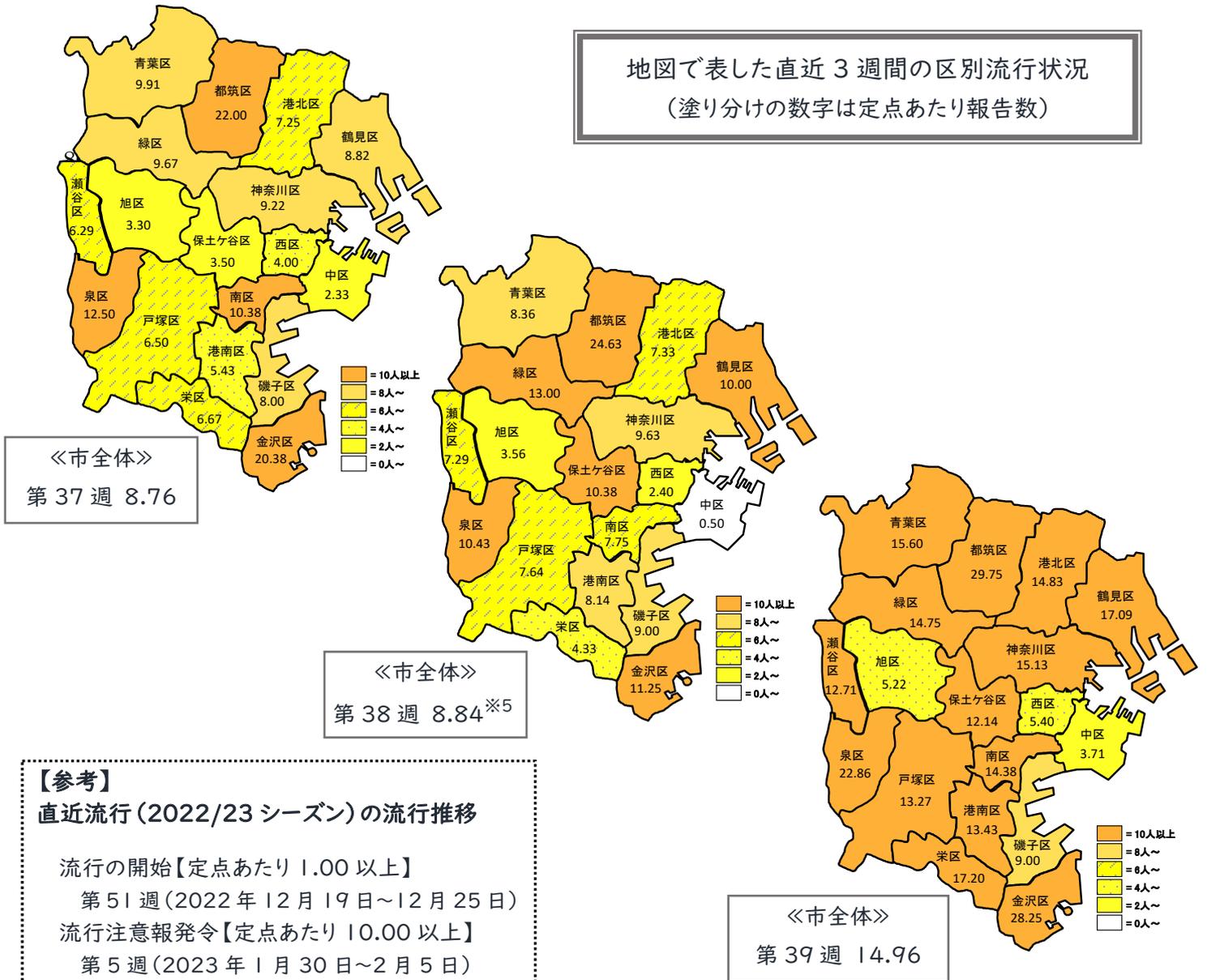
※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2023/2024 シーズン開始の第 36 週 4.91、第 37 週は 8.76、第 38 週 8.84^{※5} と増加が続き、第 39 週で 14.96 と、注意報発令基準値(定点あたり 10.00)を上回りました。**例年の同時期よりも、患者が多く発生しています。**



地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



※5 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。

【参考】

直近流行(2022/23シーズン)の流行推移

- 流行の開始【定点あたり1.00以上】
第51週(2022年12月19日~12月25日)
- 流行注意報発令【定点あたり10.00以上】
第5週(2023年1月30日~2月5日)
- 流行注意報解除【定点あたり10.00未満】
第11週(2023年3月13日~3月19日)

【年齢層別集計】

第39週の患者年齢構成は、10歳未満が44.1%、10歳から15歳未満が28.6%となっており、15歳未満が全体の72.7%を占めています。

年齢層別患者割合

